

哈薩克の使用する文字は全く纏頭回と同一にして言語も亦概ね同一なるも、彼等固有の語を混ざること少からず。

第十一節 蒙古王、回部王

貴族存置
の理由

蒙古族及回部には、各王以下の貴族を存置せり。蓋し清廷は人民に許すに信教の自由を以てし、國の治安を害せざる限りは、敢て深く干渉せず、否寧ろ却て其の宗教を利用せんと欲したり。是に於てか古來の歴史に鑑み、且つ其習慣に遵由して、各宗派、各種族の治平を保持せんが爲め、其の種族、其の部に就き、王以下の貴族を設けて、各部族を統率せしめたり。是れ現今蒙古王、回部王等ある所以とす。

蒙古族の最高級統治者を汗王と稱し、次で親王、郡王、貝勤、貝子、公爵、札薩克、台吉等の貴族階級とす。回部の最高級者は親王にして、次に郡王以下公爵に至る階級を置く。今各王以下の所屬及其の現状を示せば、大要左の如し。

吐爾扈特汗王は、同族の總頭目にして、天山南路、喀喇沙爾の北、三日行程なる、巴爾汗丹溝ハルダンに汗王府を置く。

吐爾扈特
汗王